８．福井都心地区における夜間景観の魅力創出に向けた整備イメージ

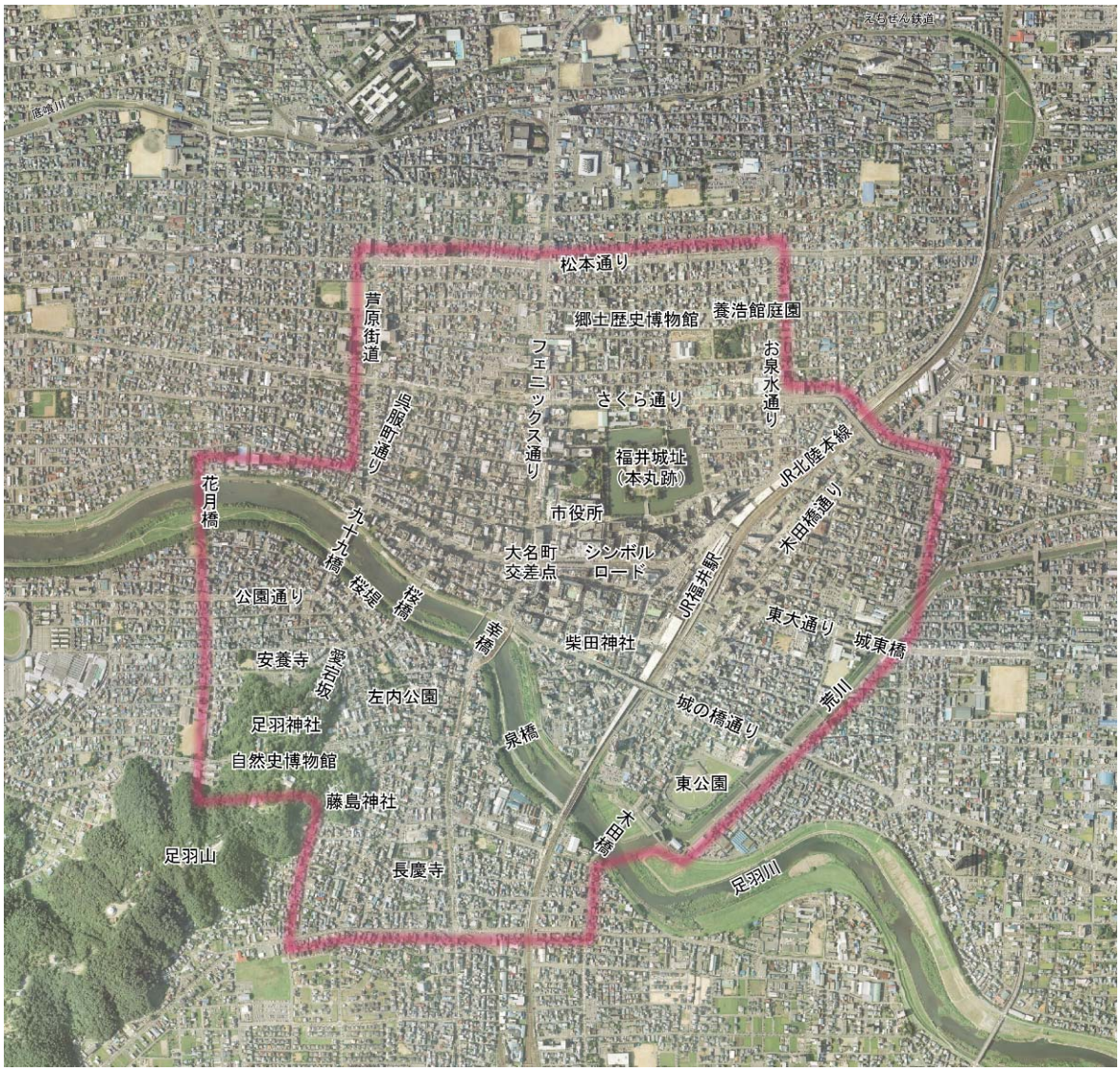
（１）福井都心地区の範囲と夜間景観形成の重要性

・福井都心地区は、JR 福井駅を玄関口として、福井城址や養浩館庭園、まちの目印である足羽山や足羽川をはじめとする景観資源が幾重にも織りなしている場所であり、「福井市景観基本計画」において“もっとも福井らしさを実感できる場所”と位置づけられており、「景観形成重点地区」の１つに定められています。

・また、「福井市景観計画」において、特に重点的な景観の整備、保全、演出を図るべき地区として、当地区の一部が「特定景観計画区域」に指定されています。

・当地区は、商業、業務、行政、観光、交流機能をはじめとする多様な都市機能や景観資源が集積し、多くの人が訪れる場所です。

・また、土地区画整理事業をはじめとする都市基盤の整備などを契機として、建築物の更新が進んでいる地区であり、魅力ある夜間景観を演出するために「光」を計画的に誘導する大きな契機を迎えています。



福井都心地区の範囲